

年会費の値上げを賛成多数で承認 平成28年度は新会費で予算案作成



賛否を記名投票で決議

全国建具組合連合会（小松俊悦会長）は1月19日、東京都千代田区の連合会館で平成27年度第1回臨時総会を開催した。

臨時総会は近藤信義専務理事の司会で進行。議長には白石善章宮城県建具業連合会会長を選出。議事録署名人には鷹箸憲一栃木県建具組合連合会会長と福家芳弘香川県アースリイウッド協同組合理事長を指名。定足数41名に対し、本人出席26名、委任状出席15名で定足数の過半数以上の出席を確認し、臨時総会の成立を宣言して議事に入った。

第1議案の平成28年度会費値上げ

の件では、次年度の年間会費を現状の5400円から会報誌含めての1万5000円にすることを是非を決議。会費の値上げについては昨年10月7日の臨時理事会において金額の決定が成され、今回の臨時総会では金額の承認を問う形となった。本人出席の26名による記名投票の結果、承認19票、承認せず4票、白票2票、棄権1票となり、会費の値上げを承認。この決議を受け、平成28年度は

新たな会費を基準とした予算案を作成する。

第2号議案の平成28年度会費徴収方法は、新たな会費の決定を受け、6月11日に三重県津市で開催される通常総会において事業計画案及び予算案が承認された後、9月に徴収する形にする案を決定。今後は各県連に全国建具への登録者を確認し、陣容を確立して次年度の事業案を作成する。

平成27年度 第1回代表者会議 三重大会の企画概要などを説明

全国建具組合連合会（小松俊悦会長）は1月19日、東京都千代田区の連合会館で平成27年度第1回代表者会議を開催した。

従来は常任理事会として毎年開催していたが、全国建具が理事会設置型の組織に移行するに当たり、全国の組合の代表者に全国建具の方針を伝え、各県代表者から意見や要望を聞く代表者会議を今回から新設。会議の冒頭、小松会長が挨拶。「昨年は東京での全国大会を開催し、盛会

に終わり建具をPRできたと感じている。これも建具業界の団結の表れであると思う。今年には三重大で大会を開催するが、実行委員会は一所懸命準備を進めている。是非皆さんの力を貸して欲しい。昨年は事務局の移転や事務局長の交代があり、皆さんに迷惑をかけたが、今後は体制も整い順調に進むことができるようになった。昨年は様々な事業に取り組んだ。全国建具の法人化、建具施工士の資格、業界としての社会保険加